

# 手足口病

## — 大人がかかると怖い

## 子どもの病気 —

外国語学部  
英語英文学科3年

山崎 あい

### はじめに

皆さんは、手足口病をご存知だろうか。中には小さい頃にかかったことのある方もいるだろう。私は、八月十九日に二十歳にして初めて手足口病を発症した。

### 手足口病とは

そもそも手足口病とは何か簡単に説明したいと思う。

手足口病は、ウイルス感染によって生じるウイルス性疾患であり、病名は手のひら、足の裏、口内に水疱が発生することに由来する。通常は、乳児や幼児によくみられる疾患であるが、成人も感染する。乳児でまれに死亡することがある。夏季を中心に流行し、汗疹と間違えられやすい。

### 症状

手足口病の症状としては次のようなものがある。初期症状として発熱と咽頭痛がある。一、二日後には手掌や足底、膝裏、足の付け根などに痛みを伴う水疱性丘疹が生じ、口内にも水疱が出現する。これが七、十日間続く。ただし、常に全ての徴候が出現するとは限らない。多くの場合、一週間から十日程度で自然に治癒するが、まれに急性髄膜炎<sup>\*1</sup>が合併し急性脳炎<sup>\*2</sup>を生じる。

この病気は主に子どもが発症するものなので、子供と接する仕事をしている人は特にかかりやすい。しかし、私の場合は普段子供と接する機会が少く、はじめは発熱と頭痛があったため、病院に行くことと風邪と診察されてしまった。しかし、次の日になると手や足に徐々に発疹が現れ出し、酷い痛みが生じ始めたため、別の病院で再診を受けた。

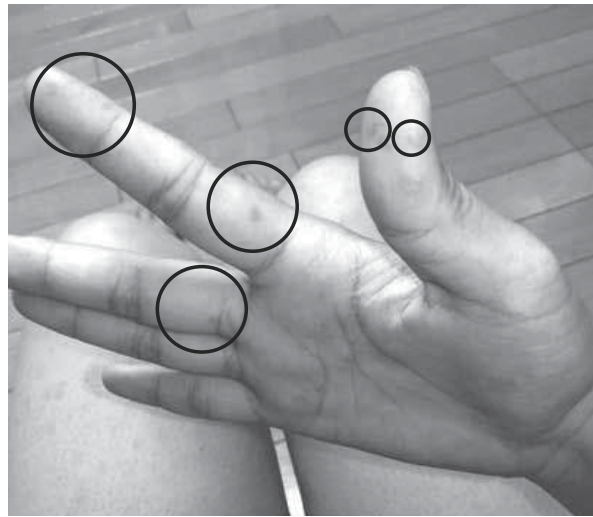
すると風邪ではなく、「手足口病だ」と診察された。

### 治療法

手足口病には特別な治療法はない。ただれた部位の熱や痛みといった個々の症状は、痛み止めによって緩和する。ただし、中枢神経症状<sup>\*3</sup>が発生した場合は入院治療が必要である。通常、感染症が治るまで自宅で安静にすることが病気に苦しむ子供にとって最も大切なことである。熱冷ましは高熱を下げるのに役立ち、水やぬるま湯による入浴もまた、乳幼児の熱を下げるのに役立つ。

私の場合は発疹よりも喉の痛みが酷く、まるで喉に口内炎が出来たような状態で四六時中トローチ等を舐めていないと耐えられないほどであった。そして一番地獄だったのが食事で、まさに「プリンしか食べられない。」という状況であった。一

口ひとくちが激痛で顔をしかめながらの食事を強いられた。



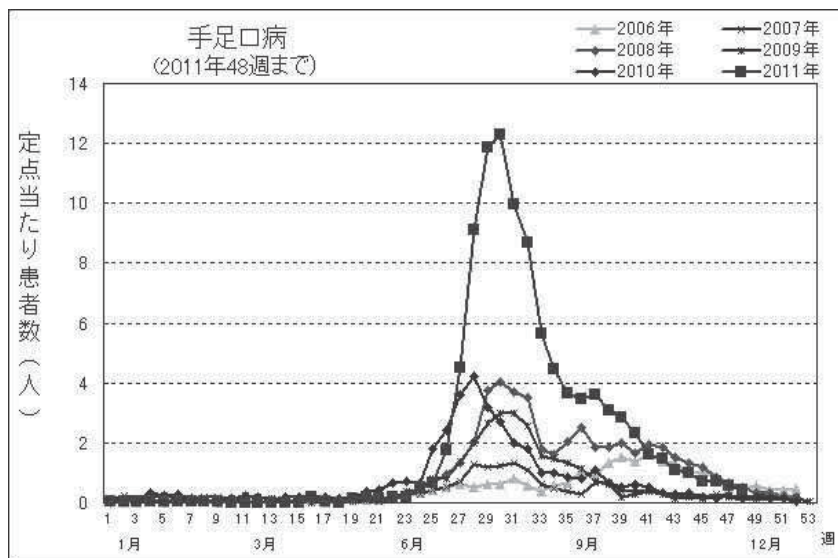
発症初期の私の手、足（足はわかりにくい）点のようなものが発疹

発疹の痛みはほんの二、三日で治まるものの、喉の痛みは後を引き話すことも億劫だった。約一週間で全ての症状が完治したが、感染を懸念して、外出と、家族以外の人との接触を避けていた。すると、今度は兄が手足口病に感染してしまった。手足口病は、年齢が増すほど症状が悪化するよう  
で、兄は私よりも発疹が酷く、まるで祟り神に呪われたアシタカ<sup>※</sup>のような手になっていた。兄の学校は新学期に入るのが早く、兄はそんな状態の中通学を続けていた。（掛かり付けの医師による

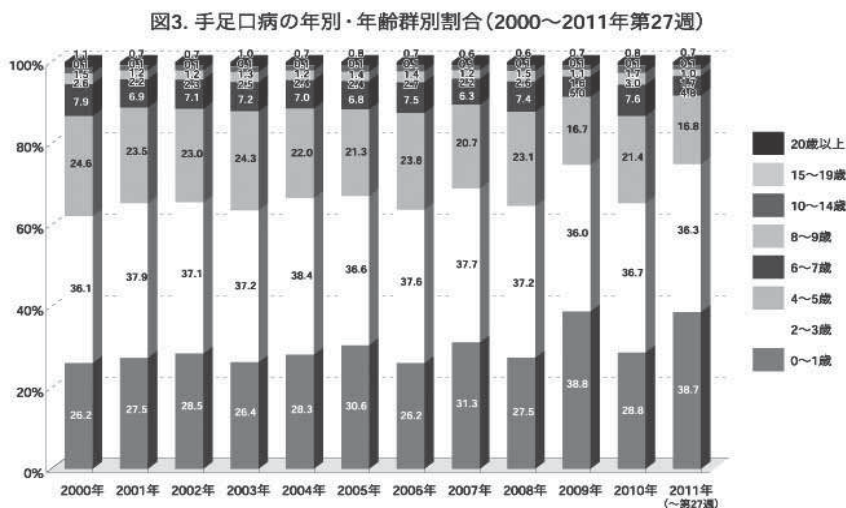
と、子どもがこの病気にかかった場合、普通に通学しても問題ないらしい。そして、そんな症状もほぼ一週間で無事完治した。



アシタカ『もののけ姫』より  
©スタジオジブリ



手足口病 (過去10年間の比較)



年別・年齢群別割合

上記グラフを見てわかるように、過去10間のなかでも飛びぬけて2011年の患者人数の数値が高い。

後遺症

完治してから、発症時に出来た発疹で膨れ上がった皮は剥がれ、指と爪の間の皮が剥がれてむき出しになっている状態が続いた。皮膚が再生するのに最低一カ月はかかっただろう。それからまた一、二カ月経つと、今度は爪に異常が見られ始めた。すぐに目についたのは手の指で、歪な亀裂が爪に入り、皮膚と爪が密着している部分にまでそれが達していた。初めは睡眠不足や不規則な生活を送っていたからだろうとあまり気にしていなかったのだが、ある時ふと足の親指の爪に白い霧が掛かっているのを発見して、これは何かおかしいと感じた。よく見てみると親指の爪の中間部分が右側から半分まで剥がれかかっているではないか。少し爪を上に向けてみたが、やはり下には地肌があつて、無論、全て剥がせる状態ではなかった。

ただ事ではないと考えた私は兄に相談すると、兄もこのような症状が手足口病を発症した後に表れたと言い、兄の知人も同じようなことを言っていたことがわかった。そこで私はインターネットで情報を集めてみることにした。すると出るわ出るわ今年手足口病を発症した人々の体験談から後の爪甲脱落症<sup>※</sup>まで。だが手足口病と爪甲脱落症<sup>※</sup>の因果関係は分からずじまいだった。

た。なんでも手足口病の元となるウイルスが原因で今回のような症状が引き起こされたようだ。流行り病というのは原因不明の症状を引き起こすものだと理解する他ないだろう。



私の剥がれかかっている親指の爪

その他の病気

男性の場合はおたふく風邪、女性はりんご病と風疹に注意する必要があるようだ。これらの感染症は、生殖機能にかかわる合併症を引き起こし、成人男性の場合は睾丸炎<sup>※</sup>になり子どもが作れなくなる可能性がある。また、妊娠中の女性の場合、胎児に悪影響を及ぼして流産の危険性が高まるという。感染症ごとに併発する合併症は決まっている。その病原体が好む部位で発症する傾向があるのだという。他にも、水疱瘡<sup>※</sup>は、治療に時間がかかり、肺炎は、最悪の場合、死に至る可能性もあるという。

なぜ「大人がかかると大変」なのか

大人が子どもの病気に感染することで、重度が増してしまう最大の理由は、かかる恐れのある病気の治療や対策を怠っているためだといえる。たいていの場合、大人はちゃんと病気の治療をしない。幼い子どもの場合は親が世話を焼いたり、病院に連れていくが、大人はそうしなくてもなかなかそうもいかない。それは、仕事や多忙など様々な要因がある。その結果、病気をこじらせて重い合併症を引き起こしてしまう可能性もある。医師が入院を勧めるのは、感染症を防ぐ隔離目的だけではなく、強制的に休ませる意図があるのだという。症状の重さもさることながら、しっかりと自宅で休息を取る子どもに比べて入院や病気が長引いている様子から、「大人がかかると大変」という説が生まれたということがいえそうだ。

まとめ

つまり、大人が子どもの病気を引き起こす理由は、子どもの病気を軽視する姿勢や余裕の無さから生まれるようだ。予防注射や、マスクといった対策不足。また、いざ病気にかかったとしても時間がなくて病院に行けなかったり、「そのうち治るだろう。」と放っておいて悪化するという状況に陥ってしまうのである。よって、私たちが子ども

もの病気にかからないようにする為には、病気に  
対する予防をしっかりとすること、人ごみの中  
はマスクを着用すること、そして何よりしっか  
りと睡眠をとり、前の日の疲れを次の日に残さない  
という一人一人の心掛けが重要なのだ。

#### ※1 髄膜炎

発熱、頭痛、意識障害、髄膜刺激症状が認  
められ、悪心・嘔吐も生じ、時には麻痺も  
起こす。

#### ※2 脳炎

脳の炎症性疾患。症状は、高熱、意識障害、  
痙攣など。麻痺などの後遺症を残す場合も  
ある。

#### ※3 中枢神経症

中枢神経がおかされると現れる症状。頭痛、  
吐き気、嘔吐、倦怠感、四肢麻痺、失禁、  
視力障害、痙攣、意識障害といった神経症  
状が現れる。

#### ※4 アシタカ

一九九七年に公開された宮崎駿監督による  
スタジオジブリの長編アニメーション映画  
作品『もののけ姫』の主人公。

#### ※5 爪甲脱落症

爪甲が爪床から離れて浮き上がった状態。

#### ※6 睾丸炎

ウイルスや細菌感染による炎症や天異常が  
原因で、睾丸に痛みや腫れ、機能不全など  
の症状が引き起こされる。睾丸は、陰囊(い  
んのう)内にある卵円形をした左右1対の男  
性生殖器。ここでは精子の形成、男性生殖  
器の発達を促す男性ホルモンの合成・分泌  
を行っている。睾丸の働きは生殖活動に大  
きく関わっているため、睾丸の病気によっ  
て男性不妊症を招くケースがある。

#### 参考文献

[http://r25.yahoo.co.jp/fushigi/wxr\\_detail/?id=20111102-00021945-r25](http://r25.yahoo.co.jp/fushigi/wxr_detail/?id=20111102-00021945-r25)

[http://dic.gankeijiban.com/a\\_term/d\\_1/r\\_2162](http://dic.gankeijiban.com/a_term/d_1/r_2162)

<http://www.saicoro.jp/otoku/kohgan/en/>

<http://tume.in/daturaku/>

#### グラフ

<http://idsc.nih.gov/idwr/douko/2011d/27douko.html>

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/content/1311666743178/index.html>